



礼拝ミニ講座（2）＜招詞＞

前奏に続いて＜招詞＞が読まれます。招詞(しょうし)とは字のごとく「招きの詞(ことば)」です。神がこの礼拝に私たちを招いておられるということの宣言です。ですから、詩篇などから、神が招いておられるという内容のみことばが読まれます。

たとえば詩篇 100 篇が招詞に用いられます。

「全地よ 主に向かって喜びの声をあげよ。

喜びをもって主に仕えよ。

喜び歌いつつ御前に来たれ。」(1～2 節)

私たちは礼拝に出席するために自ら会堂に集っていますが、まず神が招いてくださったので、御前に出て、礼拝を献げることができていることを覚える必要があります。

また、招詞として読まれるみことばには、礼拝されるべき神がどのような方か、礼拝するとはどのようなことか、が語られています。

神が自分を招いてくださったことを感謝して、神の御前にあることの心備えをしましょう。

教会暦(クリスマス、イースターなど)に従った礼拝の際には、その教会暦にふさわしいみことばが読まれることもあります。

参考聖書箇所…詩篇 95 篇、96 篇 他

「礼拝ミニ講座」は、礼拝について学びの入口として、会衆が礼拝について(特に礼拝プログラムについて)学び、整えられていくことを目的としています。礼拝前のひと時、個人の学び、グループでの学びにご活用いただければ幸いです。